

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2025 年 6 月 27 日

京都市長 宛

提出者

住 所 京都市伏見区竹田浄菩提院町316番

氏 名 大和ハウス工業（株）京都支店

支店長 牧田弘治

電話番号 075-605-2906

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 京都支店
事業場の所在地	京都市伏見区竹田浄菩提院町316番
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	06 総合建設業
② 事業の規模	完成工事高 17,270百万
③ 従業員数	196名（2025年4月1日現在）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・解体工事:がれき類（コンクリート塊、アスコン塊）、木くずを再生処理業者に委託して、再生砕石、チップ（合材用、燃料用）として再資源化。・新築工事（住宅系当社商品）：現場にて建設産廃を19品目に分別し奈良工場に一括して集め品目別に再生処理業者に委託し再資源化。・新築工事（一般建築）：現場にて分別しリサイクル可能な品目については再生処理業者に委託して再資源化。金属・紙くずは無償譲渡契約を締結し、可能な限り廃棄物にしない。

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
(別表1)(別表2)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	住宅系（新築）	6.2kg/m ²
	排出量	建築系（新築）	25kg/m ² 8.0
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・住宅系新築工事は19品目に分別 ・建築系新築工事は廃プラ、金属くず、木くず、紙くず、ダンボール、石膏ボード、ガラス陶磁器くず等5～7品目に分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状を継続し分別の精度向上を検討する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	別紙集計用シートのとおり t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組)	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

別紙集計用シートのとおり

(第6面)

備考

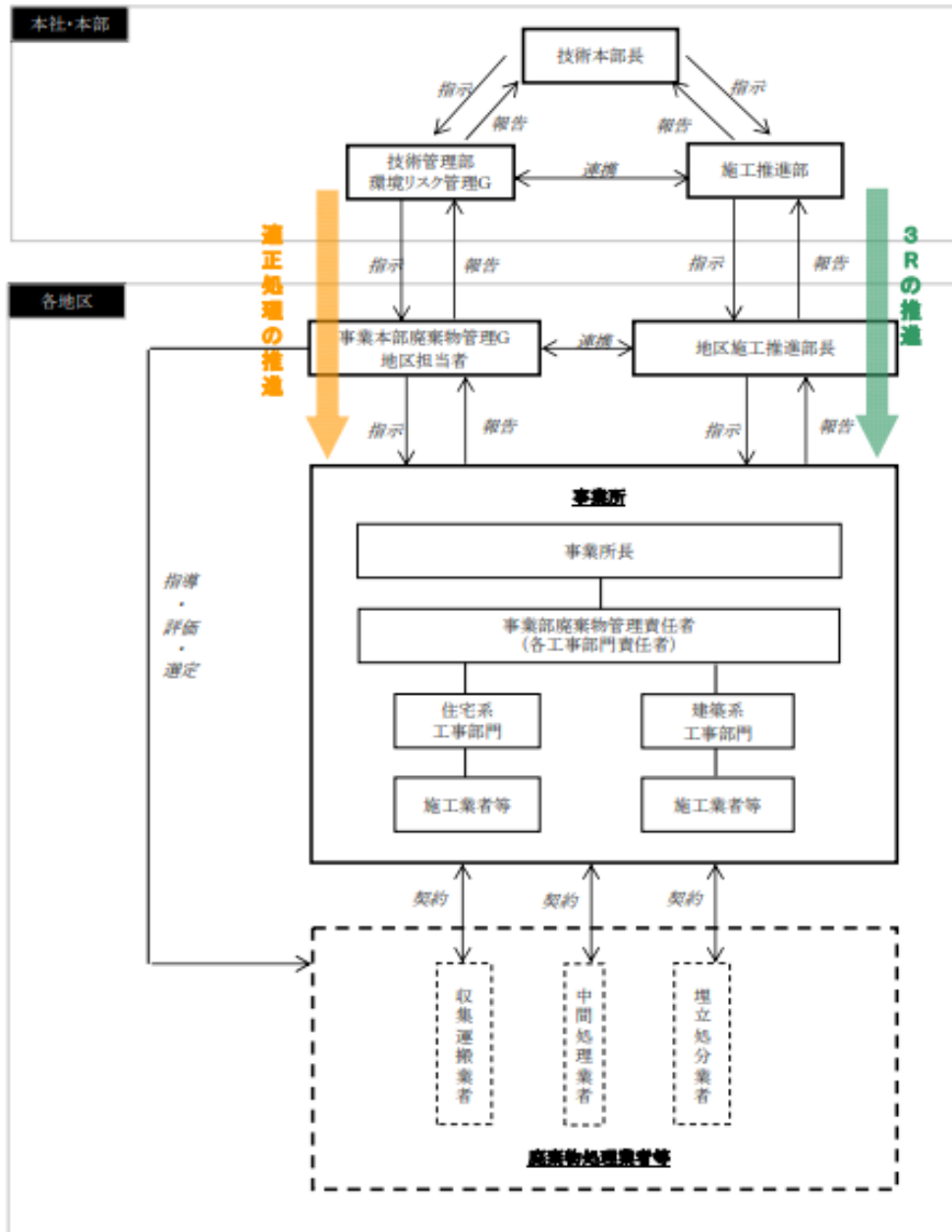
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【別表1】

第3章 組織・体制

1. 組織

建設副産物の適正処理及び3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進は、下図の組織にて行う。
 事業本部廃棄物管理G地区担当者は、地区内における建設副産物の処理、管理を適正に行うために、事業所、施工業者（解体、リフォーム業者を含む）及び廃棄物処理業者等に対して、必要な指示、報告徴収を行う権限を有する。
 また、地区施工推進部長は、環境行動計画に基づき、地区内における建設副産物の3Rを推進する責任を負う。



【別表2】

2. 職務分掌

建設副産物に関する適正処理の推進及び3Rの推進において、各部門または各責任者が実施すべき主な職務を下表に示す。

区分	部門	主な職務
本社・本部	技術管理部環境リスク管理G	【適正処理の推進】 <ul style="list-style-type: none"> 方針、計画の策定 廃棄物、リサイクル関連法の管理、対応 業務標準の制定、改訂 e i システムの改善 教育ツールの整備
	施工推進部	【3Rの推進】 <ul style="list-style-type: none"> 環境行動計画部門別目標の設定、管理 改善施策の立案、試行、全国展開
地区	事業本部廃棄物管理G 地区担当者	【適正処理の推進】 <ul style="list-style-type: none"> 行政対応（条例管理、情報収集、事前協議） 廃棄物処理業者等の評価、選定 廃棄物処理業者等の書類審査、現地審査 事業部廃棄物処理系統図の内容チェック 委託基本契約書の承認 教育計画の立案、実施 e i システムの運用支援 事業所の廃棄物管理状況の確認、指導
	地区施工推進部長	【適正処理の推進】 <ul style="list-style-type: none"> 事業所の廃棄物管理状況の確認、指導 【3Rの推進】 <ul style="list-style-type: none"> 地区目標の設定、管理 プレカット工法の推進 梱包レスの推進 余剰材削減の推進
事業所	事業所長	【適正処理の推進】 <ul style="list-style-type: none"> 遵法性の確認 委託基本契約書の締結
	事業部廃棄物管理責任者 （各工事部門責任者）	【適正処理の推進】 <ul style="list-style-type: none"> 廃棄物処理業者等の現地審査 廃棄物処理系統図の作成 委託基本契約書の作成 現場指導（分別、保管管理等） 廃棄物管理状況の確認 行政対応（報告書類の作成等） 【3Rの推進】 <ul style="list-style-type: none"> 改善施策の実施
	住宅系工事部門・建築系工事部門	【適正処理の推進】 <ul style="list-style-type: none"> マニフェスト運用管理 e i システム運用管理 現場指導（分別、保管管理等） 【3Rの推進】 <ul style="list-style-type: none"> 改善施策の実施